

部活動紹介



練習を引っ張ってくれていた2名の3年生が引退しました。新キャプテンは自己と向き合imenタルの向上に努めています。初心者の2名はラケットワークなどの基本的な動作確認の練習にも真摯に取組みメキメキとスキルアップしています。



ラグビー部

バスケットボール部は2年生男子1名で活動しています。そのため公式戦出場を目指して、音更高校と池田高校と合同チームを組んで準備を進めています。合同練習が無いときは1人での練習となります。毎日練習に励んでいます。できれば人数を集めて「士幌高校」での大会出場をしたいので、入部希望者を待っています!



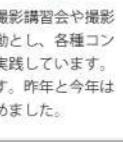
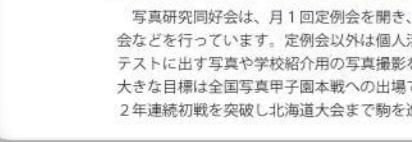
士幌高校バレーボール部は、現在1年生4名、2年生3名の計7名で活動しています。部員の多くが未経験者であり人数も少ないですが、合同チームでの大会出場を目標に日々練習をしています。



士幌高校ラグビー部は部員が少ないので、帯広工業高校や帯広柏葉高校と合同チームで試合に参加しています。合同チームでの活動はコミュニケーションや礼儀作法などの面からも大変良い勉強となっています。



士幌高校ラグビー部は部員が少ないので、帯広工業高校や帯広柏葉高校と合同チームで試合に参加しています。合同チームでの活動はコミュニケーションや礼儀作法などの面からも大変良い勉強となっています。



士幌高校ラグビー部は部員が少ないので、帯広工業高校や帯広柏葉高校と合同チームで試合に参加しています。合同チームでの活動はコミュニケーションや礼儀作法などの面からも大変良い勉強となっています。

士幌高校のアイスクリームが「ふるさと納税」の返礼品に!!

6月末から、本校のアイスクリーム（8個入り）をふるさと納税返礼品として贈呈しています（寄附金額は5000円）。全国各地の多くの方に選んでいただき、あたたかいレビューも届いています。町と高校の魅力を伝えるために継続していきます。

【ありがたい声が届いています!!】

・(40代女性)

「めちゃくちゃおいしい!!!」

思ってた以上に美味しいってびっくりしました！高校生が愛情込めて育てた、おいしい牛乳から作られたアイスクリームがふるさと納税の返礼品とは、とても素晴らしい取り組みですね。ますます応援したくなりました。

またリピートしたい逸品です！迷われている方がいらっしゃるなら是非！



・(50代男性)

「大切にたべました。」

寄付から6日後に到着しました。発泡スチロールの箱にしっかり梱包されていて不備はありませんでした。気になるお味は、濃厚なバニラでなめらかな舌触り。とても美味しかったです。

生徒さん達の気持ち込められた貴重なアイスクリームを食べられて嬉しかったです。ありがとうございました。

TOKYO2020オリンピック・パラリンピックに熱狂した夏も終わりを告げ、やや肌寒い季節がやってきました。本校の実習で作っている農作物も実りの時期を迎え、収穫が始まる時期となっていました。3年生は進学・就職に向けた進路活動も本格化し、慌ただしい日々を過ごしています。

新型コロナウィルスの影響がいつまで続くのか、先の見通せない状況ではあります。今できることを1つひとつ全力で取り組んでいる生徒たちが、少しでも目標に近づけるよう教職員一同全力でサポートしていきます。

高原だより

士幌高等学校PTA

News from Shihoro High School PTA
vol.141



タイトル『我が校舎』撮影：齊藤 里奈（写真研究同好会 1年）



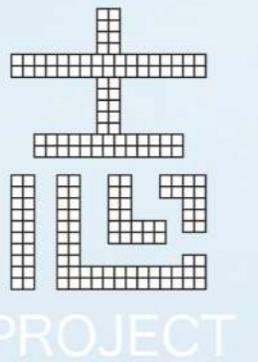
インターンシップを実施しました！

今年も2年生が卒業後の進路のことを考える機会として、インターンシップに参加してきました。新型コロナウィルスの影響が懸念される中ではありましたが、多くの企業や農家の方々のご協力のおかげもあり、なんとか無事に実施することができました。それぞれの生徒が進路を見据えた様々な業種の現場での体験活動を通して、自分の進みたい方向が少し見えてきたのではないかと思います。インターンシップで感じたことをこれから学校生活に生かしてくれることでしょう。



『志』プロジェクトとは

士幌+生徒の心 =



ぼんやりとしていた生徒のキモチを明確な夢や目標にする。生徒一人ひとりの思いを応援していくプロジェクトです。

士幌高校に通う生徒は、豊かな自然の中で、自分の夢や思いを叶えるために日々学んでいます。生徒の姿をより多くの人に知って欲しいという願いから『志』プロジェクトは始まりました。

心に決めた目的や目標、相手のためを思う気持ちの意味を持つ「志」。士幌の「士」と生徒の「心」という2つの漢字を組み合わせて、プロジェクト名になっています。

生徒の思いを目に見える形にして届けます。ひとつひとつの志が集まり、町の志を形作る。それが『志』プロジェクトです。

●『志』プロジェクト認証までの道筋

『志』プロジェクトは、生徒会の役割を担う農業クラブ執行部が中心となり、平成26年にスタートしました。認証されるには、自らの活動や思いを申請書に書き記し、面接を受けます。面接官は農業クラブ執行部。申請は個人でも団体でも構いません。

面接に合格すると認証書が贈られると同時に、認証の印として1年生には〔銅〕、2年生には〔銀〕、3年生には〔金〕の『志バッジ』が贈呈されます。受け取ったバッジは制服の胸で輝き、生徒にとっての誇りにもなっています。

●志Labの活動

平成31年度より新たに『志Lab』という活動を開始しました。「士幌高校と士幌町が協力して町を盛り上げたい」と強く願う仲間たちで、共同研究を進めていくという意味を込めて『志Lab』と名付けました。士幌町と士幌高校を北海道のみならず、全国へ発信していくよう、町内の企業と連携した専攻班活動を越える取り組みとして活動しています。



卒業生より



樋浦 優晴 さん (令和2年度アグリビジネス科 卒業)
進路：釧路総合振興局農務課（北海道行政職員農業B）

- ①士幌高校の一番の思い出
部活のバスケットボール部で士幌高校単独チームとして公式戦に出場し、1勝目を挙げたことが一番の思い出です。
- ②現在の仕事について
釧路は酪農が盛んな地域です。私はここ釧路で地元産の生乳や加工品の消費拡大を進める仕事を行っています。
- ③中学生へのメッセージ
士幌高校は幅広い分野について学ぶことができる、進路の選択肢が広がります。農業以外のこと多く学べる学校なのでお勧めです。

校訓 人に対しても 物に対しても 謙虚な社会人となろう

タイトル『高原より』撮影：笹島 涼華（写真研究同好会3年）

学科紹介

アグリビジネス科

- これからの「おいしい」を支える農業を学びます。
- 農業がもつ機能を活用し、豊かな産業の創造に携わります。
- 豊かなフィールドを通して体感しながら学ぶことができます。

フードシステム科

- 食品づくりから「安全と安心」の基礎を学びます。
- 食品製造や品質管理、衛生管理などについて実践的に学ぶ科です。
- 農業生産物の流通や販売に携わりながら学ぶことができます。

たくさんの中の思いを応援、サポート！

I 士幌町からの支援

- ① 部活動や農業クラブへの経済的助成
- ② 町内の施設や人との交流（講習会、講演会）
- ③ 自主バス運行に対する助成
- ④ 町外生徒で自主バスでの通学が困難な生徒は町内指定下宿（通称：フレンドハウス）への入居が可能

II 振興会からの支援

- 「資格検定取得へのサポート」
学校で開講している検定試験に合格した場合検定料を全額又は一部助成します。
※振興会指定の検定級のものに限る
例) 日本漢字能力検定（3級以上）、実用英語技能検定（3級以上）
全経簿記能力検定（3級以上）、日本情報処理検定〔表計算・ワープロ〕（3級以上）、その他

III 4年制大学を目指す生徒への支援・助成制度

- ・入学時から4年制大学を目指すことを決めている場合、1年生より月額20,000円助成。
 - ・または、大学進学後に修学資金無利子貸付制度の利用が可能です。
- なお、町内企業等に10年間勤務、または公立学校の教員になれば全額助成。

IV 町外生徒の通学には自主バスの利用

- 遠方からの通学には、保護者を母体として運行している「自主運営バス」があります。
帯広・音更・芽室・札内など、十勝管内の各方面から通学が可能です。

在校生より



阿部 優月 さん
(フードシステム科3年)

- ①士幌高校に入学して良かったこと
実際にパンやお菓子の製造ができるところです。士幌高校には、本格的な加工施設が整っており、徹底した衛生管理の下、実習に取り組んでいます。実習で作った商品は、私たち自身が販売会などで売る機会もあるので、製造から販売に関する経験をすることができるので、卒業後の進路にも活かせると思います。また、「収穫祭」など農業高校ならではの行事も多くあるので、非常に良い経験ができていると感じています。
- ②中学生へのメッセージ
士幌高校では、農作物の生産から加工、商品の販売までを学ぶことができます。将来やりたいことが決まっている人も、まだ決まっていないという人も士幌高校で自分の得意なことを見つけ、様々なことに挑戦してください。

在校生一同、皆さんの入学を楽しみに待っています。